

2020 年度事業計画書

2020 年 4 月 1 日から 2021 年 3 月 31 日まで

公益財団法人 大阪コミュニティ財団

近年、わが国でも福祉や医療、教育、環境、災害復興など様々な社会的課題を解決するため、行政や企業でもない、多様な団体が実施する公益活動に期待が高まっている。

とりわけ大阪・関西では、2025 年に開催される「大阪・関西万博」の開催にむけて、様々な準備が加速してくる年度でもある。同万博では、貧困や飢餓の解消、健康や福祉の充実、質の高い教育の提供など 17 の目標を掲げた SDGs が達成される社会をめざすことを目的のひとつとしており、その達成のため市民セクターの活動がこれまで以上に重要になってくる。

このような状況をふまえて、当財団では事業の基盤である基金の新たな提供者と、その「お志」に沿った活動を行う NPO 等の発掘に積極的に取り組み、両者の橋渡しを強化するとともに、2021 年に迎える当財団創立 30 周年に向けての記念事業の検討を行う。

1. 基金の募集・受入・管理

- ・社会貢献に関心のある個人・企業等への情報提供。
- ・弁護士はじめ士業や金融機関の財務アドバイザー等への情報提供と協力依頼。
- ・ドナーズフォーラム開催（大阪）による基金寄付者との良好な関係を継続し、最新情報を提供。

2. 助成事業の実施

- ・当財団および事業の周知・PRによる新規助成先・事業の発掘。
- ・基金寄付者の「お志」に合う効果的な助成事業の採択。
- ・助成金目録贈呈式や助成事業の成果発表会（全分野対象）の開催（大阪）
- ・「東日本大震災及び原発災害からの復旧・復興活動等支援基金」による助成事業の成果発表会の開催。
- ・助成管理業務（募集・申請・選考等）の効率的な業務の推進を検討。

3. 社会貢献活動に関する調査研究・普及・啓発活動

- ・「大阪コミュニティ財団の集い」の開催（東京）
- ・助成先団体への訪問による助成事業の実施調査

4. 広報活動

- ・プレス発表、新聞・雑誌等への広報活動
- ・「事業報告」「基金の現況」「助成事業一覧」『財団 NEWS』の作成、発行
- ・『My 基金 Our 基金でコミュニティに貢献』等の基金募集ツールのリニューアル、配布

5. その他

- ・当財団創立 30 周年（2021 年 11 月）に向けての記念事業の検討。

以上